

子育て家庭と区長のタウンミーティング（子育てカフェ）で寄せられた主な意見

テーマ：子育て家庭にとって住みやすいまち

（２０２５年５月２１日開催分）

・保育や教育に関すること
区内には一時的な預かり保育ができる施設が少ない。 特に特性のある子どもの受け入れ先が少ないため、増やしてほしい。 また、ベビーシッター利用支援事業の限度が年間１４４時間では足りない。
病児保育を利用できる施設が少なく、利用しにくいので対応施設を増やしてほしい。 施設によっては医療機関からの診断書や、お弁当を持参する必要があり、利用にあたっての負担が大きい。
休日保育を実施している保育園が少ない。
・公園や道路など、まちづくりに関すること
子どもの特性によっては、公園で遊んでいても走って公園の外へ行ってしまいう危険性がある。安心して利用できるよう、柵で囲われている公園があるといい。
子どもの身体機能の発達を促す視点での公園づくりや適切な遊具の設置に力を入れてほしい。また、区ホームページで身体を育てる遊び場として特色ある遊具を紹介する記事があるといい。
小さい子ども向けの公園の遊具が多いように感じる。 幅広い年代の子どもが遊具を楽しめるように、整備をすすめてほしい。
高根公園などトイレが設置されていない公園があるため、設置してほしい。 また、公園のトイレのおむつ替えスペースが汚い。もっと綺麗に使いやすくなるよう改修をすすめてほしい。
公園でサッカーが出来るように、利用ルールを改めてほしい。
需要が多いにも関わらず、区内にバスケットボールが出来る場所が少ない。
子どもを乗せても、自転車で安心して車道を走れるような環境を整備してほしい。
道路の舗装が劣化している箇所を補修してほしい。
まちを歩いていて、気軽に休める場所がない。休憩スペースの設置を検討してほしい。
塔山小学校の学区に公園が少ない。

・発達支援について
療育施設や放課後デイサービスの利用を希望しても、実際に利用できるまでに数か月待たなければならない現状がある。放課後デイサービスの施設数を増やすとともに、期間の短縮に向けた取り組みをしてほしい。
子どもの特性によっては、複数の放課後デイサービスの利用や療育施設に通うことが大きな負担となる。子どもの負担を減らすため、一つの施設に毎日通えるようにしてほしい。
保育所等訪問支援の回数を増やしてほしい。
発達支援が必要な子どもが保育園で食事のサポートを受けられるようにしてほしい。
現在、区内の療育センターは北と南に1つずつあるが、通いにくい場所にある。区を中心にも療育センターがあるといい。
特別支援学級の常設化を進めてほしい。
小学校に自閉情緒学級を増やしてほしい。
JR沿線に特別支援学級が少なく、通いにくい。どの地域に住む家庭も利用しやすいように点在させてほしい。
乳幼児健診の際、発達特性のある子どもが安心して過ごせるような待機できる場所があるといい。子どもの特性の有無に関わらず、すべての子どもと保護者にとって行きやすい健診環境を整えてほしい。
現状、発達支援に関する情報は母親同士の情報でなんとか知ることが出来ている。区ホームページで発達支援に関する情報をまとめてくれると、情報収集がしやすくなるのではないかな。
障がいや発達に問題を抱えている子どもへの理解を深めるイベントがあるといい。
ASD、ADHDの子を持つ親の相談先を増やしてほしい。
発達支援の必要がある子どもに配慮してくれる病院を紹介してほしい。
発達に課題のある子どもにあった習い事が見つけられない。子どもがさまざまな体験に触れられる機会や情報をもっと身近にあれば嬉しい。
発達支援が必要な子どもたちに対する理解や知識のある保育士を増やしてほしい。
障がいのある子どもの子育てでは定型児よりも多くの支援が必要である。人手不足などにより、福祉に関わる方の負担が大きくなならないよう、働きやすい環境を整えてほしい。
区内に宿泊を伴うショートステイ施設がないため、将来を見据えた自立に向け、親と離れるための練習ができない。他自治体の施設を利用しようとしても、その自治体の住民が優先で、なかなか利用できない。
発達支援を受ける際に、それぞれの子どもにあった支援を受けられるようにしてほしい。

・その他

安心して子育てをするために、育児に不安を感じていることを相談できる窓口があるといい。また、育児に関する情報収集のため、子育て家庭の親同士がつながることができる機会を設けてほしい。

夏場に室内で遊べる施設が少ない。児童館や無料で利用できる室内の遊び場を増やしてほしい。

他区に比べ、歩きたばこや路上喫煙禁止地区での喫煙が多く、受動喫煙の被害を受ける可能性が高い。喫煙所を増やすことで、受動喫煙を防止してほしい。